

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

アプライド マテリアルズ ジャパンは、アプライド マテリアルズが初めてアジアに進出して設立した現地法人として1979年に設立されました。半導体、フラットパネルディスプレイなどの製造に用いられる革新的な製造装置を日本のお客様に提供し、国内15のサービス拠点を中心にお客様をサポートする体制を整えています。さらに、システム改善や自動化ソフトウェア、ファブコンサルティングを通してお客様の量産工場の生産性向上を支援しています。

アプライド マテリアルズ ジャパンは、アプライド マテリアルズが持つグローバルな研究開発拠点と密接に技術交流をし、日本のお客様に向けて最先端の技術を提供しています。



創立	1979年10月1日
資本金	59億5,000万円
従業員数	884名（2019年10月末現在）
拠点	本社：〒108-8444 東京都港区海岸3-20-20 ヨコソーレインボータワー 大阪支店、川崎オフィス サービスセンター：四日市、広島、他計15か所 羽田パーツセンター、立川リペアセンター
役員	代表取締役社長 中尾 均 代表取締役 藍谷 輝一 取締役 小田 正己 監査役 ナンシー・ラッジヤス

社会貢献活動

アプライド マテリアルズは、社会貢献の重点分野として教育、環境、文化・芸術、地域支援の4分野を定めており、当社もその方針に従い日本で様々な支援や協働を行っています。清掃活動やフードドライブの実施、プログラミング教室の協働、社員の寄付額に同額を上乗せするマッチングプログラムのほか、東日本大震災の被災地で活動するNPOの支援を行っています。

教育プログラム

アプライド マテリアルズ ジャパンでは全世界の社員と共に Applied Global University (AGU)の教育プログラムに参加する機会が提供されるほか、自己啓発支援制度や社外セミナー受講制度など充実した研修システムが活用できます

サークル活動

アプライド マテリアルズ ジャパンでは活発なサークル活動が行われています。公式サークルに活動補助金が支給されるなど、社員相互の親睦と心身のリフレッシュのための活動を奨励しています

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社 沿革

1970

日本での販売を開始

1979

日本法人 アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社 設立

1983

日本開発銀行より外資系企業として初の融資を受ける

1984

成田にテクノロジーセンターを開設

1988

羽田パーツセンターを開設

1991

資本金を59億5,000万円に増資
テクノロジーセンター第2ビル
開設

1997

検査・測定装置事業に参入

1998

日本でフィランソロピープログラムを本格的に開始

2000

ISO9001認証取得

2003

Etec Systems の日本法人
株式会社日本イーテック・システムズを統合し、マスク関連事業に参入

2004

メトロン・テクノロジー・ジャパン株式会社を統合

2006

アプライド・フィルムズ日本株式会社を統合

成田テクノロジーセンター閉鎖

2007

ブルックスオートメーションのソフトウェア事業部門を統合

2011

セミツール・ジャパン株式会社を統合

2014

バリアンセミコンダクターイクイップメント株式会社を統合

エーケーティー合同会社 沿革

1991

アプライド ディスプレイ テクノロジー株式会社設立

1993

コマツがアプライド ディスプレイテクノロジーに50%資本参加し、社名をアプライドコマツテクノロジー株式会社に変更

2000

コマツの持分売却に伴い、アプライド マテリアルズの100%子会社となりエーケーティー株式会社に社名を変更

アプライド マテリアルズのETEC買収に伴い、ETECのディスプレイプロダクトグループを統合し、アレイ検査装置ビジネスに参入

2006

アプライド マテリアルズによるアプライドフィルムズの買収によりカラーフィルタ用 ITOスパッタリング装置が製品ラインナップに加わる

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社

〒108-8444
東京都港区海岸3-20-20
ヨコソーレインポーター
Tel: 03-6812-6800 (代)

エーケーティー合同会社

〒530-0001
大阪府大阪市北区梅田1-11-4
大阪駅前第4ビル
Tel: 06-6442-5200